

令和3年 畑作・野菜病害虫発生情報 第25号
作物名：大豆（8月下旬）

津軽地域でべと病の発生が多く、県南地域でウコンノメイガとチョウ目幼虫による食害が目立っています。

1. わい化病（発生量：少ない）

津軽地域、県南地域ともに発生が確認されなかった。

わい化病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）					発生地点率（%）	発病面積率（%）
				甚	多	中	少	微		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	0	0	0	0
		前年	16	0	0	0	0	0	0	0
		平年	16	0	0	0	0	8.4	8.4	0.0
	県南	本年	7	0	0	0	0	0	0	0
		前年	5	0	0	0	0	40.0	40.0	0.2
		平年	6	0	0	0	1.9	17.0	18.9	0.2

注）平年値：過去9か年の平均値

発生程度：甚 発病株率50%以上、多 同31～50%、中 同11～30%、少 同1～10%、微 同1%未満

2. べと病（発生量：津軽…多い、県南…少ない）

県内に広く発生が認められ、津軽地域の発病葉率は平年より高く、県南地域では平年より低かった。

べと病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	発病葉率（%）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	61.5	38.5	100	26.0
		前年	16	0	0	6.3	81.3	87.5	6.9
		平年	16	0	0	14.7	68.8	83.5	10.1
	県南	本年	7	0	0	14.3	85.7	100	8.7
		前年	5	0	0	20.0	80.0	100	20.2
		平年	6	0	0	15.2	77.1	92.4	14.5

注）平年値：津軽地域は2016年を除いた過去6か年、県南地域は過去7か年の平均値

発生程度：甚 発病葉率76%以上、多 同51～75%、中 同26～50%、少 同25%以下

3. アブラムシ類（発生量：少ない）

県内全域でアブラムシ類の寄生は認められなかった。

アブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	1複葉当たり寄生虫数（頭）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	0	0	0
		前年	16	0	0	6.3	12.5	18.8	0.15
		平年	16	0	0	6.4	5.6	12.0	0.20
	県南	本年	7	0	0	0	0	0	0
		前年	5	0	0	20.0	0	20.0	0.26
		平年	6	0	2.2	6.3	3.7	12.2	0.72

注）平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値

発生程度：甚 1複葉当たり虫数51頭以上、多 同11～50、中 同1～10、少 同1未満

4. 吸実性カメムシ類（発生量：やや少ない）

津軽地域の1ほ場で成虫が捕獲された。県南地域では確認されなかった。

吸実性カメムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生数 (頭/25株当たり)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	7.7	7.7	0.02
		前年	16	0	0	0	6.3	6.3	0.02
		平年	16	0	0	0	5.7	5.7	0.03
	県南	本年	7	0	0	0	0	0	0
		前年	5	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	0	0	5.6	5.6	0.02

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値

発生程度：甚 25株当たり虫数51頭以上、多 同26～50頭、中 同6～25頭、少 同1～5頭

5. ウコンノメイガ（発生量：津軽…やや少ない、県南…多い）

1株当たりの葉巻数は、津軽地域で平年よりやや少なく、県南地域で平年より多かった。

ウコンノメイガ幼虫による葉巻症状の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	株当たり葉巻数 (枚)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	7.7	30.8	38.5	0.17
		前年	16	0	0	25.0	56.3	81.3	0.47
		平年	16	0.8	4.8	14.6	46.2	66.5	0.84
	県南	本年	7	0	0	42.9	42.9	85.7	0.89
		前年	5	0	0	0	60.0	60.0	0.23
		平年	6	0	3.7	20	47.4	71.5	0.74

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値。

発生程度：甚 株当たり葉巻数11枚以上、多 同6～10枚、中 同1～5枚、少 同1未満

6. その他のチョウ目幼虫（発生量：津軽…やや少ない、県南…多い）

津軽地域の被害葉率は平年よりやや低く、県南地域の被害葉率は平年より高かった。

主な加害種はツメクサガ、オオタバコガ、ウワバ類であった。

チョウ目幼虫による食害状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	幼虫捕獲数 (100株相当)	被害葉率 (%)
				甚	多	中	少			
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	38.5	61.5	100	0.8	22.7
		前年	16	6.3	6.3	43.8	43.8	100	2.9	34.0
		平年	16	4.8	10.9	30.4	52.5	98.5	4.8	27.5
	県南	本年	7	0	14.3	42.9	42.9	100	1.4	31.0
		前年	5	0	0	0	100	100	2.2	12.7
		平年	6	0	5.6	15.2	71.5	92.2	2.8	14.5

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値。

発生程度：甚 被害葉率76%以上、多 同51～75%、中 同26～50%、少 同25%以下

幼虫捕獲数は、すくい取り(100株相当)による”ツメクサガ、オオタバコガ、ウワバ類、ヨトケ類等”の捕獲総数の平均値。

すくい取りによる捕獲幼虫の内訳

地域	調査 地点数	総捕獲数 (頭)	幼虫種別捕獲数 (頭)									
			ウコンノメイガ	ツメクサガ、 オオタバコガ	ウワバ類	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	その他				
津軽	13	10	0	7	2	0	0	1				
県南	7	10	0	7	0	0	0	3				
県計	20	20	0	14	2	0	0	4				

注) その他: モンキチョウ、シャクトリムシ

(参考) 性フェロモントラップにおけるオオタバコガ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月	6月						7月						8月						9月					
	半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
つがる市 (森田中田)	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	7	60	153	59	19	48	57	33								
	2020	0	2	15	25	34	16	37	26	12	3	3	56	111	118	94	49	28	36	64	62	22	19	5	11
	平年	1	2	3	5	8	4	7	6	9	14	21	42	49	48	49	46	45	55	64	68	62	48	35	13
十和田市 (赤沼)	2021	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	1	15	0	0	0								
	2020	2	8	45	15	23	1	5	14	3	2	0	6	5	19	23	16	20	10	3	18	35	40	16	15
	平年	4	3	8	4	4	1	2	4	5	13	16	33	34	41	59	53	71	64	67	66	99	69	40	33

注) 平年値は十和田市が過去9か年の平均値。つがる市の平年値はつがる市下牛潟における2012年～2018年の値及びつがる市森田中田における2019年～2020年の値の平均値。

(参考) 性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月	6月						7月						8月						9月						
	半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
つがる市 (森田中田)	2021	5	16	6	2	0	0	1	92	112	187	258	276	174	46	194	446	635								
	2020	0	4	14	14	32	45	67	108	72	61	26	19	281	165	694	566	142	88	280	107	272	279	67	148	
	平年	7	3	5	3	9	11	24	39	28	37	35	44	62	47	116	100	65	63	78	138	71	61	55	44	
十和田市 (赤沼)	2021	0	10	3	0	0	2	2	9	15	21	103	153	50	25	6	46	48								
	2020	1	3	4	11	15	12	93	100	33	5	5	1	75	525	81	347	278	239	56	105	123	355	375	130	
	平年	2	1	1	2	3	6	22	25	20	24	14	21	31	68	43	63	80	74	44	53	62	73	64	36	

注) 平年値は十和田市が過去9か年の平均値。つがる市の平年値はつがる市下牛潟における2012年～2018年の値及びつがる市森田中田における2019年～2020年の値の平均値。

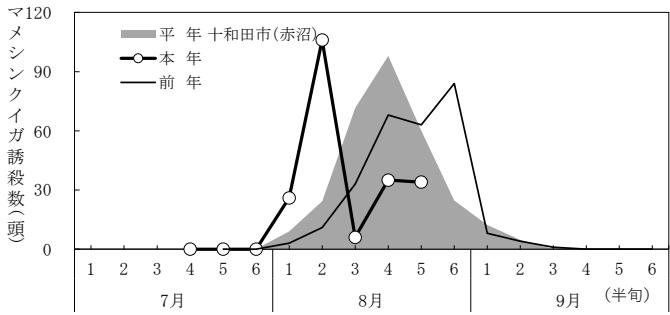
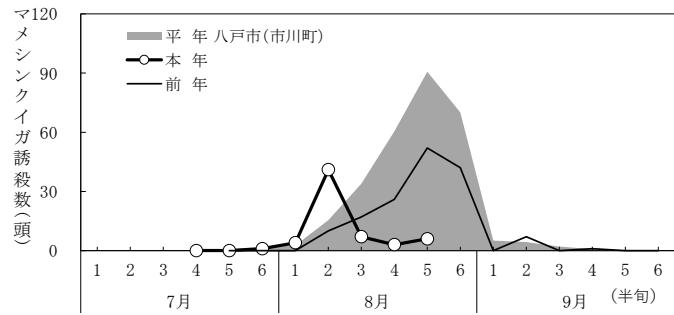
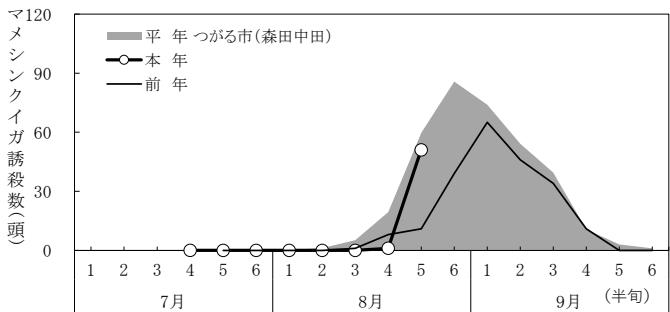
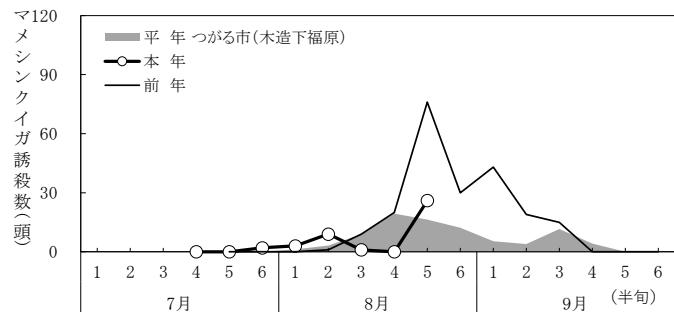
7. マメシンクイガ

津軽地域の誘殺数は概ね平年並に推移し、誘殺盛期は8月下旬頃と予想される。

県南地域の誘殺盛期は平年より早い8月2半旬頃であったが、誘殺数は平年より少なく推移している。

性フェロモントラップにおけるマメシンクイガの誘殺推移

設置場所	月	7月						8月						9月										
	半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6					
つがる市 (木造下福原)	2021	0	0	2	3	9	1	0	26															
	2020	0	0	0	0	1	9	20	76	30	43	19	15	0	0	0	0	0	0					
	平年	0	0	0	0	1	3	9	19	16	12	5	4	12	4	0	0	0	0					
つがる市 (森田中田)	2021	0	0	0	0	0	0	1	51															
	2020	0	0	0	0	0	0	1	8	11	39	65	46	34	11	0	0	0	0					
	平年	0	0	0	0	0	1	5	19	60	86	74	54	39	11	3	1	0	0					
八戸市 (市川町)	2021	0	0	1	4	41	7	3	6															
	2020	0	0	0	10	17	26	52	42	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0					
	平年	0	0	2	3	15	34	60	91	70	5	4	2	1	0	0	0	0	0					
十和田市 (赤沼)	2021	0	0	0	26	106	6	35	34															
	2020	0	0	3	11	33	68	63	84	8	4	1	0	0	0	0	0	0	0					
	平年	0	0	0	9	24	72	98	60	25	12	5	0	0	0	0	0	0	0					



注)マメシンクイガ図表の平年値は、つがる市木造下福原は過去6か年、つがる市森田中田及び八戸市市川町は過去8か年、十和田市赤沼は過去9か年の平均値。

**県民の皆さまへのお願い
新型コロナ感染拡大防止**



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当:技師 佐藤香緒里